



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

- 国際主題 Once More We Stand 心新たに立ち上がる
アジア区主題 Once More We Stand 心新たに立ち上がる
西日本区主題 飛翔たとう ワイズスピリットを胸に 泰然自若の精神で
京都部主題 ワイズにビジョンを、思いやりと共に ~世界のワイズが輪になって~
メネット主題 「愛の心」 ~原点に立ち返って私たちに出来ること~



善を行う者は神に属する人であり、悪を行う者は、神を見たことのない人です。
ヨハネの手紙3第1章11節



「私のつぶやき」

会計 永濱 貴章

今年の夏は猛暑続きで、我が体力も還暦を超え、少々バテぎみで、ついついクーラーのスイッチを入れる毎日が続いています。エコロジーも考えなければと思いつつ欲求に負けてしまう私です。京都市北区に住まいして四十数年、あっといふ間の年月、十八才で京都の図案家の内弟子となり十数年、絵筆を友に図案家として独立したのが、和装業界への一歩です。生来、無口で社交的ではないのですが、悪ガキでもありました。酔うと人格が変わり雄弁になると最近まわりから言われる自分に“ハッ”としております。

仕事（友からは遊びと言われますが）が忙しく晩婚の為、二十四歳になる息子と妻との三人家族です。息子は横浜にいる為、熟年夫婦二人ですが、熟年 とならない様お互い努力？している日々です。現在の仕事は、創作着物、帯の製作、販売を生業とし、御時世も有って苦戦していますが分相應を心掛けています。和の心、文化を通じ何かワイズメンとして自分に出来る事があればと思う最近です。

プリンスワイズメンズクラブに入会して3年が経ちました。Y'sメンとしての自覚を高め参加することで、「奉仕の心」を考えワイズの精神でも有る「友愛」「ボランティア」「社会貢献」「地域奉仕」「YMCAサポート」等々考える事が多く成って来ました。我がクラブではどんどん人数が減り高齢化が進んでいます。今すぐ若返り、増員が急務であります。

しかしながら、20年30年前に入った人はクラブの仲間と親しい交わりができていて新しい人が見た時には閉鎖的なクラブに見えてしまうのではないのでしょうか？入会したいと思う動機、興味も経済状況も違い同じステップに立つのがなかなか困難の様にも思われます。

ワイズという組織、形を継続する事ばかりが議論され、なにか義務で役割をやっていて毎回新鮮な思いや感動があるのでしょうか？「友達クラブ」はワイズではないかもしれませんが簡単に言うてしまうのは危険な様に思われます。ゲストスピーカーの貴重な話も欠かせませんが、仲間が例会に集まり、喋り、人の話を聞き、世間話をし、そういった楽しい肩の張らない例会がもっとあればと思います。色んな形、思いはあると思いますが、アイデアは必ずあるはず。みんなで考えましょう。残暑きびしい折クラブの皆様ご自愛下さい。

会長主題

**豊かな心を求めて
YMCAと共に**

**Restart!
Aim for double**

- 会長 森 伸二郎
副会長 三村 良行
小泉 洋
書記 岡西 博司
会計 永濱 貴章

9月例会案内

1日(水)

第一例会

元西日本区理事森本榮三氏をお迎えして「マザーテレサの生き方に学ぶ」というテーマで講演をしていただきます。多くの方をお誘いください。

12日(日)

第二例会

京都部会、テーマは「京存共栄」リーガロイヤルホテル京都で開催されます。受付午後1時開始、第一部式典午後2より。

例会出席

8月第1例会	11名
8月第2例会	11名
在籍者数	14名
出席率	100%
前回出席修正	

B Fポイント

切手	0pt
現金	0円
累計	0円

ニコニコ

8月第1例会	0円
8月第2例会	10,000円
累計	13,000円

ファンド

8月スイカ	41,200円
累計	41,200円

**強調
月間**

Menette

メネットが主導して楽しい例会を企画しましょう。日ごろ出席の少ないメネットにも呼び掛け参加してもらい親睦を深めましょう。

坂本 千春 メネット事業主任



いつもは家族で楽しく参加させて頂いていた納涼例会。しかし、今年はドライバー委員長の役を頂き、企画立案からの参加。委員の皆様と共に、【家族で楽しむ、かつメンバーのコミュニケーションが図れる納涼例会】をテーマに立案。数か所の候補の中から、【グリーンパーク思い出の森】。キャンプ施設も充実し、バーベキューにアスレチック、軽いトレッキングも楽しめて温泉付き。また、グラウンドゴルフも楽しめる。委員での下見も終えて、いよいよ本番当日。JR京都駅に集合し、JR湖西線～送迎バスに乗り込んで現場到着。ローカルな公共交通機関を利用した約1時間半の旅路。旅路も例会、あせらず他愛もない会話にも花が咲く。

到着後は一息入れて、全員参加の【グラウンドゴルフ大会】。ゴルフ経験者も未経験者も楽しめるコース設定。年齢、性別関係なしに楽しめるスポーツを介してのコミュニケーション。普段では見れないメンバーの横顔が見れたのでは？ ホールアウトの後は、お待ちかねの【バーベキュー】。グラウンドゴルフでスッカリ打ち解けた雰囲気の中、ジャンジャン焼いて、ガッツリ飲む・飲む・飲む。飲んで、食べた後は温泉にシッポリと浸かるのみ。

【納涼】とは名ばかりの【酷暑】の中、皆様お疲れさまでした。メンバーの高齢化？が進むなか移動手段はもとより、酷暑下のグラウンドゴルフなど相当体力を消耗されたかと思いますがお許しください。また、機会があればこのような小旅行をメンバーの皆様と楽しめたらと思います。



国際大会に参加して

2010年8月5日～8日
横浜国際大会マーシャル 西村 寛子



22年振りに日本国内で開催された国際大会に夫婦そろってマーシャルという形で参加する機会を得ました。開催が東日本ということもあって、準備段階からのお手伝いをさせていただくことは出来ず、メールによる事前資料を確認することから始まり当日を迎えました。現地にて諸説明を受け、いざマーシャルユニフォームに着替えての仕事となりました。国内外からの参加者の登録受付案内・会場案内等に始まり、時間とともに大会の雰囲気が盛り上がってきました。マーシャルの仕事は会場内だけにとどまらずオプションの観光の添乗や、イベントの準備等さまざまにありなかなか大変でした。しかしながら、マーシャル間の指示・連絡に今回は携帯メールが導入され時々刻々と情報が配信されマーシャルの動きもスムーズに運ぶことが出来、準備のご苦労が色々な所で実っているということが実感できました。

私はマーシャルとしてメネットアワーに参加し、海外からのメン・メネットのお手伝いをさせていただいたり、ジャパンナイトでは永濱メネットの協力も得て百人近い海外からのメンに浴衣の着付けもさせていただきました。昨年京都部メネット事業主査のお役を頂戴し、この国際大会に向けてのメネット事業の準備のお手伝いをさせていただいたこともあり、そうした各地のメネットの準備協力が素敵な形で報われていくさまを目の当たりに出来たことはとても嬉しい事でした。加えて前京都部山中部長がエルマクロー賞を受賞、部役員として共に働いた者として大きな喜びとなりました。

国際会長主催のディーナーパーティーでは参加各国のメン・メネットのパフォーマンスが飛び出し、楽しくダンスをしたりおしゃべりしたりと大いに盛り上がりました。このようにメネットとして、そしてマーシャルとして、国際大会に参加する機会を得て、多くの方々と楽しい時間を共有することが出来たことを心より感謝しております。多くのワイズメンの方々と、来年の台湾でのアジア区大会、再来年のノルウェーでの国際大会での再会を約してお別れしてまいりました。是非一人でも多くのプリンスクラブメンバーと共に参加できればと願っています。

役員会例会。プリンスクラブチャーター以来、初めての実施です。

今期は、このところのメンバー数の減少による委員会体制の変遷において、また新たな委員会体制となっています。ここ何年間は、各事業委員会をいくつか統合して、一つの委員会として複数の事業を担当する委員会組織でした。しかし、これでは委員長一人に対する負担が大きいということで、ここ2年程は各事業毎に委員長は設けるが、委員会を三つのグループに分けて委員会活動をしてきました。この傾向は委員会活動を円滑にするために、一活動単位の人数を増やそうとしたものです。

そして今期は、さらにメンバーが減少し、この委員会体制では各グループ委員会の構成はほとんど役員のみになり、委員会活動としての十分な人数は揃えられないということになりました。

そこで、森会長の考えられた委員会構成は、全メンバーが役員であり全委員会の委員にもなるというものでした。実際上は、グループ制は残され、そのグループがメインになって活動していこうというもので、事業によっては他グループのメンバーも委員となって活動してもらおうというものです。

この発想は、全員が役員になるということでクラブの現状問題により危機感をもってもらって、常に自主性と一体感とでクラブ運営に臨んでもらおうというものだと思います。又、役員会が委員会にもなり得るので、少ないメンバー数での取り組みにおいて時間的効率を考え、メンバーの負担の減少をも考慮していると思われる。

こうなってきましたと、ここ何年間の傾向でもあったのですが、対内的な第二例会は、極論すると役員会でもあり委員会でもあるという様相になっています。そこで浮上してきたのが、第二例会時での役員会実施だと思われれます。ここでもメンバーの時間的負担の軽減も考慮されています。もちろんプリンスホテルの使用実績を考慮して、年4回実施の計画に留まっています。

しかし、初めての試みですから課題もあります。ホテルが会場なので時間が足りないのではないかと。役員会ならば何もホテルで開催する必要はないのではないかと。例会は月一回でいいのではないかと。そうすれば財政的には赤字解消につながるのではないかと。会費も減額できるのではないかと。と、いろいろと問題提起ができます。

しかし、役員会例会は時限措置です。メンバー数が増えれば元に戻ります。それは言わずもがなです。メンバー数をダブルにするというのが、今期の大目標です。皆さん、しっかりと共通認識として意識して下さい。

さて役員会例会ですが、メンバー11名とメンバー候補1名の出席で始まりました。食事の前には、京都グローバルクラブのメンバー4名の方から9月の京都部部会のアピールがありました。既に参加人数は連絡を受けているので、アピールというよりもお礼ということで挨拶だけで退席されました。

役員会は、節食例会のカレーを急いでかけこんで、19時30分より始まりました。出席者確認の所で、書記の岡西ワイズが総会の定足数の話しをされようとしてしました。間違っても致し方ないかと思われれます。一般メンバーがいないので、役員会が毎回総会みたいなものなのです。しかしそれで間違えられたのではなく、ホテルが会場ということと、食事をしてからという例会形式での初めての役員会なので勘違いされたのだと思います。

役員会自体は、通常通りといたしますが滞りなく進行されました。時間的には1時間20分の予定を少し越えて、9時には閉会となりました。委員会的要素も加味するならば、もう少し時間を多くとるとか、委員長の事前準備がより必要だと思われれます。回を重ねる毎に改善していけばよいという事です。

私見ですが、この例会報告は、今後役員会報告ということで、報告事項・協議事項・審議事項等の記録というか議事録で良いと思います。しかしブリテンですから、掲載内容の吟味は必要だとは思っています。議事録となればもちろん通常役員会の場合も、ブリテンに議事録コーナーを設けるのも一手だと思っています。



東京サンライズクラブからの報告

今月は横浜国際大会で燃え尽きて目立った活動はありませんでした。第一例会は長津君の店「グラディス」で納涼例会として開催しました。オーストラリア・セントラルコーストクラブのジョンとクリスご夫妻をはじめ大勢のゲスト・ビジターをお迎えして賑やかに行なわれました。大急ぎで開会セレモニーを済ませ、車椅子でご参加の馬場啓子さんに「楽しミすと」の365日と題した卓話をして頂きました。その後会食に移り、冷たいビール、ワインなどを楽しみながら美味しい食事を頂きました。話は尽きず夜遅くまで歓談の時を持ちました。詳しくはサンライズの今月のブリテンをご覧ください。<> 10月はいよいよ西条酒祭にかこつけての東広島でのDBC交流会が行なわれます。2日目の日曜日には神戸に移動してジャズフェスティバルを楽しもうと考えています。ぜひご参加ください。



横浜国際大会写真集



スイカファンドの報告

昨今のファンド事業について考えると例年のジャガイモファンドの伸び悩みを鑑みると何とかスイカファンドをクラブのファンド事業として定着できないものだろうかと思いは、何としても昨年よりも多くのスイカをメンバーに買って頂きたたく案内させていただきました。在京のクラブ会長様にも案内をさせていただきました。その結果、8クラブから注文があり、特にウエルクラブ、洛中クラブからは合計56個の注文を頂くことができました。あるクラブの会長からはもう少し早く案内があればクラブファンドとして検討できたとのことでした。これを見ても分かるように、時間の余裕を見て案内すれば、何処のクラブもファンド事業として取り上げられることでしょう。各クラブ、ファンド事業では苦労されていることが伺えます。今年の総売り上げ個数は130個、ファンド益金は、41,200円でした。皆様に感謝いたします。

秋の夜長を楽しもう

旧暦8月15日は、十五夜。この日の月を「中秋の名月」と呼び、お月見をするならわしが日本にはある。それでは今年の中秋の名月はと言うと9月22日(水)となり、3年続けて満月の前日(月齢14)となる。

さて、そんな月は、どの様にして誕生したのであろうか。今までに3つの説が唱えられた。太陽系形成時に地球と一緒に創られたとする「兄弟説」。地球とは別の場所でできた天体が地球に接近して捉えられたとする「捕獲説」。そして今一番有力な「ジャイアントインパクト説」。この説によると、地球が誕生して内部に中心核とマントルが分離した頃、地球に火星程度の原始惑星が衝突し、飛び散った破片の一部が地球をまわりながら月を形成したとされている。

それじゃあ、月の誕生は、ジャイアントインパクト説として、いつ頃、どのようにしてウサギが住み着いたの？

9月22日は、例会日である。翌日は祝日で休みなので、例会の後、みんなでビールを片手にゆっくりとお月見をしながらウサギに聞いてみるのもいいかも・・・。

私は、昨年75日間に渡って、日本YMCA同盟主催のステップ 研修を受講いたしました。研修は静岡県御殿場市にあるYMCA東山荘を中心に行なわれ、『YMCA職員としての業務を遂行するために必要な「知識」「理論」「方法」「技能」を修得する』とともに、『「YMCAミッション遂行能力」を養うこと』を学びました。その中で私が特にここに残ったことを書かせていただきます。

YMCAはキリスト教を基盤とした団体です。私が以前抱いていたキリスト教のイメージは「他力本願」という、どこか「受身」であるイメージを持っていました。ところが、研修を受講して強く思ったことは、私の持っていたそのイメージは誤っていたということです。聖書のメッセージには「すべての人間がそこで生を喜ぶことができるような世界を実現すること」「社会変革、終わりなき変革へ向けての働きをしていくこと」が書かれています。YMCAは、そのような働きができていくかを常に意識していくことの大切さを痛感しました。

聖書の中で、「自分は信仰を持っていると言うものがない、行いが伴わなければ、何の役に立つでしょうか？」という箇所があります。つい理想にばかり、目を奪われそうになりますが、何より大切なことは、「現実」を見ていくことであることであることをこの聖句を読むと気づかせてくれます。さまざまな問題を抱えている現代ですが、諸問題に向き合い、「学校や他の社会教育団体などとYMCAが、協力し、活動していくと社会は変わる！よりよく変わる！YMCAが動かないといけない！」と研修を終え、強く感じました。

私にとって「YMCAのことを知るにつけ、YMCAがますます好きになった」と同時に、「YMCAのことを知るにつけ、YMCAスタッフの責任の重さを痛感した」研修となりました。

研修を終え、9ヶ月の月日が経とうとしています。この原稿を書かせていただいたおかげで、あらためて、「現実をしっかりと見据えないといけない」ということを思い出すことができました。感謝です。

YMCA NEWS

個人の体力や運動能力を測定することによって、統計的に見ての優劣、あるいは体力年齢を示す指標があります。また、医学的な検査によっての健康診断も大切な指標です。

しかし、心と体、魂をも含んだ「健康」言い換えれば「ウエルネス」については、測定や判定は勿論他者と比較することはできません。よく比喻として、体力が優っていても生きる価値を見出せないでいる状態の方と、病と戦いながらも積極的に生き抜こうとしている方との比較はできないことが用いられます。

この夏には、戦後65年ということで、「戦争」や「核兵器の使用」によって多くの生命が失われたことをあらためて考えさせられ、更には高齢者の方々の死に対しての尊厳が損なわれたり、児童・幼児虐待や育児放棄によって失ってしまう生命があることをまざまざと見せられ、今日の社会状況を憂うことが多くありました。

この生命についても、それぞれが与えられたものであり、そのいのちの重さは長さや生まれる場所や環境によって変わるものではなく、すべて等しいものであり、比較できるものではありません。すべてのYMCA、ワイズメンズクラブの活動を通してこのことを伝えたいものであります。この夏に行われましたサバエ・リトリートセンターの施設やプログラムへの、皆様のご支援に感謝して。

1. 国際福祉専門学校入学希望者をぜひご紹介ください

国際福祉専門学校は10月1日からの願書受けつけ開始に備えて、募集活動を実施中です。

【介護福祉学科】

「すべてのひとりひとりのために」よりよいケアを求めて行動しつづけることができる介護福祉士を養成します。

・6年連続(2005年～2010年)就職率100%達成！

・「介護福祉士」国家試験受験資格を取得

【社会福祉士科(通信課程、1年9ヶ月)】

確かな技術や知識に基づいて、社会福祉業務に携わる社会福祉士を養成します。

・働きながら社会福祉士を目指せます。(通信課程、1年9ヶ月)

・「社会福祉士」国家試験受験資格を取得

皆様からご紹介くださった方が本校を受験される場合は受験料(20,000円)を免除させて頂きます。またご紹介の方には心ばかりの粗品を進呈させて頂きます。お問い合わせ等がございました際は、専門学校辻中までご連絡をお願い致します。京都YMCA国際福祉専門学校 辻中康宏

電話075-255-3287 FAX075-255-2805

e-mail tsujinaka@kyotoymca.or.jp

2. グローバルアウトドアクラブ・スイミング・体育 後期募集のお知らせ

一般の方の後期募集がはじまります。お知り合いの方で興味のある方がいらっしゃいましたら是非お勧めください。ご継続の方で定員に達しているクラスもございます。詳しくは、お問い合わせ・お申し込みともに下記まで。

グローバルアウトドアクラブ

9月8日(水)から受付 電話(075)231-4388

スイミング・体育

9月8日(水)から受付 電話(075)255-4709

3. ボランティアセミナーのご案内

がん患者さんとそのご家族へ 第43回 苦しみ、悩み、不安を共有しませんか。この会は患者さんとそのご家族が抱えている苦しみや悩みについて、患者さん同士、そのご家族同士が話し合い、がんとうまく付き合うための情報交換の場です。

日時 9月18日(土) 午後7時～9時

場所 京都YMCA(三条柳馬場)

参加費 お一人300円

お申込は京都YMCA 電話(075)231-4388または

vb@kyotoymca.or.jp

Happy Birthday

September

該当者なし

今月のスケジュール

9月

1日(水)	第一例会 グランドプリンスホテル
11日(土)	京都YMCAチャリティーコンサート 京都市北文化会館ホール
12日(日)	第二例会 第15回京都部部会 京都部合同メネット会 第2回京都部評議会 リーガーロイヤルホテル京都
15日(水)	三役会 会長宅
22日(水)	役員会 京都YMCA

役員会報告

<承認された議案>

節食例会でのメンバー 候補登録費2千円

荒木利彦君入会の件